

# ユースみやっこベース

平成 25 年度 事業報告書

2013. 2. 7～2014. 3. 31



MIYAKKO  
BASE



## 目次

<b>設立趣旨</b>	…… 1
<b>組織理念</b>	…… 1
<b>事業実施の方針</b>	…… 1
<b>重点目標</b>	…… 1
<b>実施事業概要</b>	…… 2
<b>実施事業</b>	…… 4
<b>寄付のお礼</b>	…… 1 3
<b>決算報告</b>	…… 1 4
<b>メディア掲載</b>	…… 1 6



2014年3月9日 第一期生卒業式より



## **設立趣旨**

東日本大震災後、宮古市における最初期の復旧活動は子ども・若者たちの力が中心であり、2011年3月13日に宮古市災害ボランティアセンターが設置されてから同年4月末までの期間で297名がボランティア登録し、活動を続けた。復旧から復興に向かうにつれて、学校としての取り組みやボランティアサークルなどを通して活動を続ける生徒がいる一方、何をすればいいかわからず活動の機会を失っている子ども・若者たちも多くおり、2011年5月から2013年1月までの1年8ヶ月間で新たにボランティア登録したのは34名のみと震災直後に比べて激減している。

東日本大震災をきっかけに生まれた「地元の復旧復興の力になりたい」という気持ちや、それぞれの活動の中から感じるようになった「地元への愛着」を実際の行動に結びつけていくことが、子ども・若者の成長や宮古の発展のために必要である。

子ども・若者に対して、社会活動への参加参画の機会を創出することによって、地元への愛着を深めるとともに、将来の地域社会をつくっていく主体としての成長を促すこと、また、若者同士のネットワークを広げながら宮古市の発展に寄与することを目的とし、この団体を設立する。

## **組織理念**

宮古で育った若者たちが誇りを持って暮らす社会の実現のために、子どもたちを主体とし、地域の中で様々な学び・体験の場づくりをすることによって、生きる力を育む。

## **事業実施の方針**

高校生を対象とした事業を中心に行う。高校生が地域の課題に気付くきっかけを作り、主体的に行動を起こしていく気運を醸成する。

## **重点目標**

宮古市内全高校の生徒を対象とした事業を行い、高校の枠を越えた高校生同士の横のつながりを形成する。高校生が参加・実施する活動を全面的に支援し、宮古市の復興・発展に向けて青少年が担う活動の場を模索する。

## 実施事業概要

2013 年

日時		内容	備考
2月	2日(土)	第0回高校生サミット(プレ実施)	
	7日(木)	ユースみやっこベース設立	
	17日(日)	第1回高校生サミット	
3月	15日(金)	NPO 伝えるコツセミナー受講	
	20日(水・祝)	第2回高校生サミット	
	24日(日)	第2.5回高校生サミット	
4月	14日(日)	高校生プレゼン大会	
	27日(土)	第3回高校生サミット	
		東芝CM撮影協力	
	下旬	マップ「あうえーこなび」制作活動開始	
5月	18日(土)	第4回高校生サミット	
	26日(日)	高校生合同ボランティア活動	
6月	12日(水)	キリン福祉財団助成決定	
	16日(日)	第5回高校生サミット	
	29日(土)	電通広告小学校MBスペシャル	
	29日(土)～	まごいかせんべいコラボ新商品話し合い	
7月	3日(水)～	中央通商店街イルミネーション作成	
	6日(土)	世代間ボランティア交流会	
	21日(日)	第6回高校生サミット	
		第1回大人の話を聞く会	
	28日(日)	キリン福祉財団贈呈式	
取材のコツ講習			
8月	2日(金)～	「あうえーこなび」取材開始	
	5日(月)	「あの夏、タイムマシンにのって」上映会	
		第2回大人の話を聞く会	
	25日(日)	第7回高校生サミット	
31日(土)	水沢高校飛龍祭参加		
9月	4日(水)	みやこハーバーラジオ出演	
	8日(日)	わくわくまつり(実行委員参加)	
	15日(日)	みやこ秋まつり 新撰組パレード参加	
	23日(月)	第8回高校生サミット	
10月	13日(日)	第9回高校生サミット	

	20-21 日	全国竹とんぼ大会（実行委員参加）	
	24 日（木）	まごいかせんべいコラボ新商品発表会見	
11 月	4 日（月・祝）	フットサル大会	
	10 日（日）	つくってくってうっぺすプロジェクト始動	
	16-17 日	岩手沿岸ブロック子ども会代表者会議	
	17 日（日）	宮古市社会福祉大会	
	23 日（土）	第 10 回高校生サミット	
12 月	7 日（土）	つくってくってうっぺすプロジェクト会議	
	14 日（土）	第 11 回高校生サミット	
		第 3 回大人の話を聞く会	
		クリスマス会	
	15 日（日）	協働のまちづくりフォーラム	
	20 日（金）	マップ「あう ぇーこなび」完成・配布開始	

2014 年

	日時	内容	備考
1 月	7 日（火）	第 12 回高校生サミット	
	17 日（金）	寄付募集セミナー参加	
	30 日（木）	N コン参加	
2 月	1 日（土）	つくってくってうっぺすプロジェクト準備	
	4 日（火）	宮古地区 NPO 懇談会参加	
	8 日（土）	つくってくってうっぺすプロジェクト本番	
	16 日（日）	あう ぇーこなび PR ラジオ出演	
	23 日（日）	第 13 回高校生サミット	
	24-25 日	N コン参加	
3 月	9 日（日）	第一期生卒業式	
	21 日（金・祝）	福岡県立若松商業高校交流会	
	23 日（日）	第 14 回高校生サミット	
	24 日（月）	みやっこハウスプレオープン	

## 実施事業

### 社会参加支援事業

子ども・若者の主体的な活動支援

### 高校生サミット

宮古市内の高校に通う生徒などを対象に、話し合いの場を創出する。様々な議題を設定し、多様な観点から宮古の現在の魅力や課題を知ること、宮古の復興・発展のために行動を起こすきっかけにしてもらうことを目的として開催。

全16回開催 のべ222人の高校生が参加（宮古市内全5高校の生徒に加え、奥州市水沢高校から生徒が参加）

内容	日時	場所	参加人数
第0回 高校生のまちづくり (プレ実施として開催)	2013年 2月2日(土)	宮古市総合福祉センター2F	5名
第1回 高校生、ヒーアンビション	2月17日(日)	宮古市総合福祉センター2F	13名
第2回 宮古の活性化について	3月20日(水)	宮古市総合福祉センター2F	11名
第2.5回 宮古の活性化について	3月24日(日)	宮古市総合福祉センター2F	7名
第3回 私の将来・宮古の未来	4月27日(土)	宮古市総合福祉センター3F	28名
第4回 今、伝えたいこと	5月18日(土)	宮古市総合福祉センター2F	8名
第5回 復興とは	6月16日(日)	田老福祉センター	39名
第6回 働くとか価値観とか生き方とか	7月21日(日)	宮古市勤労青少年ホーム	20名
第7回 高校生活動の持続可能性	8月25日(日)	宮古市総合福祉センター3F	8名
第8回 ?をなくそう	9月23日(月)	宮古市総合福祉センター3F	16名
第9回 ディベート	10月13日(日)	宮古市総合福祉センター2F	13名
第10回 学校のこと	11月23日(土)	宮古市総合福祉センター2F	11名
第11回 主体的な人生について	12月14日(土)	宮古市総合福祉センター3F	13名
第12回 数字で見る宮古の現状	2014年 1月7日(火)	宮古市総合福祉センター2F	6名
第13回 一周年特別企画「ミッションインポッシブル in 宮古」	2月23日(日)	みやっこハウス	13名
第14回 宮古市のPV作り	3月23日(日)	みやっこハウス	11名



## 高校生プレゼン大会

高校生が考える宮古市活性化の企画を発表する場を開催。来場した市民に投票してもらい、グランプリに選ばれた企画を実行する。

4月14日開催 17名の高校生が参加し、50名の宮古市民が来場。



## 宮古市のマップ制作

プレゼン大会での投票でグランプリとなり実施が決定した企画。宮古の活性化のため、地元住民による地元消費を促すことを目的に、高校生向けに宮古市街地を紹介するパンフレットを制作。高校生を対象とするアンケート調査から開始し、取材や記事作成、デザインまですべて高校生の手により完成。飲食店を中心に市内の9店舗を紹介する「あうえーこなび」を3000部発行し、市内全5高校の全校生徒に配布したほか、市役所や宮古駅など市内各所に設置。あうえーことは、宮古弁で路地や裏道などの意味。



### いかせんべいコラボ新商品開発

すがたのいかせんべいコラボ新商品開発。新メニュー考案、試作品の試食や意見交換を経て、小さなサイズのまごいかせんべいに「ラー油」「くるみ」「抹茶」の三つの新しい味が完成した。水沢高校飛龍祭、宮商デパートで完売。2014年3月11日正式発売が開始した。



### 社会活動コーディネーター

- ・高校生に参加、活動してほしいという依頼を受けたもの

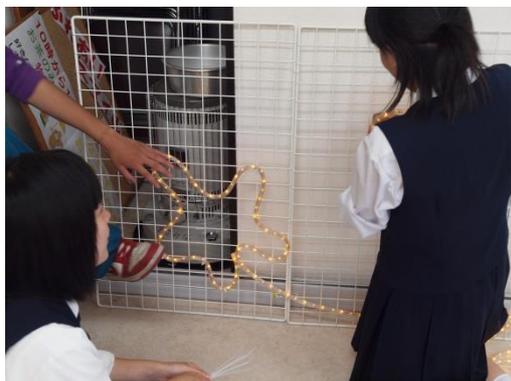
### 電気バス CM 出演

宮古市内を走る電気バスの CM 撮影に協力。



### 商店街イルミネーション制作

商店街の夏のイルミネーションのデザイン制作。7月に中央通商店街に飾られた。



### 新撰組パレード

9月15日（日）みやこ秋まつりのパレードに宮古港海戦の会として参加。

### フットサル大会参加

11月4日（月・祝）一般社団法人子どものエンパワメントいわて主催「第一回宮古っこフットサル大会」に参加。



### つくってくってうっぺすプロジェクト

やまだぐらしを楽しむ会主催「山田の食べるを楽しむ会」において、高校生が考える「食」に関する企画を考案。山田町の新しい特産を考え、大人と共に調理し、商品化につなげようという企画の中で、「いくらまん」「いかめし」などの新商品案が生まれた。



## 社会教育事業

### 大人の話を聞く会

宮古出身、在住の大人の話を聞くことで、今後の人生を歩む上で主体性を持ち、主体的な進路決定を促すこと、また、地域における様々な職業についての話から職業に関する考えや地元に対する考えを深めることを目的として開催。

第1回 7月21日 有原領一氏（社会福祉法人宮古市社会福祉協議会 主査）

松本徹氏（有限会社マツモト機材工業 常務取締役）

第2回 8月5日 安藤陸男氏（アンドーコーポレーション有限会社 代表取締役）

榎桁一則氏（みやこシネマリーン 支配人）

第3回 12月14日 小林さつき氏

（社会福祉法人宮古市社会福祉協議会 ボランティアコーディネーター）

早川輝（ユースみやっこベース 代表理事）

第4回 1月7日 佐々木仁氏（宮古市役所 総務企画部総務課統計担当）



### 広告小学校みやっこベーススペシャル

㈱電通協力のもと、宮古の良さを伝えるCMづくりという観点から「伝える」「コミュニケーション」を学ぶ講座を開催。

6月29日 宮古市総合福祉センターにて 12名参加。



### 「あの夏、タイムマシーンにのって」上映会

宮古市民による自主制作映画「あの夏、タイムマシーンにのって」鑑賞。

8月5日 みやこシネマリーンにて 9名参加。

### 他校との交流

#### 徳島県の高校生との交流

徳島県徳島市立津田中学校 OB との交流会に参加。防災についての意見交換を行った。

8月8日 宮古工業高校にて。



#### 奥州市水沢高校との交流

合同高校生サミットでの交流に加え、水沢高校文化祭飛龍祭にて意見発表を行った。



#### 北九州市の高校生との交流

3月21日 福岡県立若松商業高校との交流会に参加。

## その他の事業

関係機関への協力

### 世代間ボランティア交流会

7月6日 岩手県社会福祉協議会主催「世代間ボランティア交流会」に登壇。

### わくわくまつり

9月8日 宮古市社会福祉協議会主催「みやこわくわくまつり」に実行委員として参加。

### 全国竹とんぼ競技大会

10月20-21日 第31回全国竹とんぼ競技大会 in 岩手宮古に実行委員として参加。

### 岩手県沿岸ブロック子ども会代表者会議

11月16-17日 岩手県沿岸ブロック子ども会代表者会議「安全で住みよいまちづくり研究集会」にスタッフとして参加。



### 宮古市社会福祉大会

11月17日(日) 宮古市社会福祉協議会主催「宮古市社会福祉大会」パネルディスカッションに登壇。

### 協働のまちづくりセミナー

12月15日(日) 岩手県主催「協働のまちづくりセミナー」パネルディスカッションに登壇。

各種講習等参加

- ・NPO 伝えるコツセミナー
- ・NPO のための寄付募集セミナー
- ・宮古地域 NPO 懇談会
- ・N コン

## 各種会議

設立会議 2013年2月7日（木） 3名

## 理事会

	日時	出席者
第1回	2013年3月5日（火）	3名
第2回	3月12日（火）	3名
第3回	3月27日（水）	3名
第4回	4月17日（水）	3名
第5回	5月8日（水）	3名
第6回	5月16日（木）	3名
第7回	5月29日（水）	3名
第8回	6月13日（木）	3名
第9回	6月27日（木）	3名
第10回	7月13日（土）	3名
第11回	7月22日（月）	3名
第12回	9月6日（金）	3名
第13回	9月27日（土）	3名

## 定例会

第1回	2013年4月20日（土）	11名
第2回	5月11日（土）	8名
第3回	6月15日（土）	7名
第4回	7月13日（土）	8名
第5回	8月10日（土）	5名
第6回	9月21日（土）	6名

## 事務局会議

第1回	2013年10月12日（土）	5名
第2回	11月9日（土）	8名
第3回	12月14日（土）	8名
第4回	2014年1月11日（土）	5名
第5回	2月15日（土）	6名
第6回	3月8日（土）	5名

## 寄付のお礼

みなさまからのご支援とご協力に、心より感謝いたします。

あたたかいご支援やご寄付・助成をいただき、ありがとうございました。

社会福祉法人宮古市社会福祉協議会さま

3.11 きずなプロジェクト in はつかいち実行委員会さま

入江千恵子さま

公益財団法人キリン福祉財団さま

(株)リクルートホールディングスさま

公益社団法人助けあいジャパンさま

中村利幸さま

雪印メグミルク(株)さま

宮古市末広町商店街振興組合さま

花坂印刷工業(株)さま

西川税理士法人さま

あすからの暮らし相談室・宮古さま

木村一郎さま

葛浩史さま

(順不同)



【写真左】2013年7月1日 3.11 きずなプロジェクト in はつかいち実行委員会さま 寄付金授与

【写真右】2013年7月30日 キリン福祉財団さま キリン・子ども「力」応援事業助成金授与

## 決算報告

### 貸借対照表

2014年3月31日現在

ユースみやっこベース

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	1,104		
普通預金	254,869		
流動資産合計		255,973	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			255,973
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		255,973	
正味財産合計			255,973
負債及び正味財産合計			255,973

# 活動計算書

2013年2月7日から2014年3月31日まで

ユースみやっこベース

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	36,000	
賛助会員受取会費	2,000	38,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		497,351
3. 受取助成金		
受取助成金		150,000
4. その他収益		
受取利息	18	
雑収入	25,000	25,018
経常収益計		710,369
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)高校生サミット事業費		
消耗品費	26,346	
保険料	840	
会場使用料	400	
雑費	3,360	
高校生サミット事業費計	30,946	
(2)マップ制作事業費		
備品費	13,440	
消耗品費	14,643	
印刷費	81,900	
雑費	8,740	
助成金返金額	31,277	
マップ制作事業費計	150,000	
(3)その他事業費		
消耗品費	5,026	
会場使用料	10,000	
旅費交通費	10,917	
その他事業費計	25,943	
事業費計		206,889
2. 管理費		
消耗品費	5,958	
通信費	4,250	
賃借料	117,500	
旅費交通費	3,600	
什器・備品	99,960	
水道光熱費	8,439	
諸会費	6,000	
雑費	1,800	
管理費計		247,507
経常費用計		454,396
当期経常増減額		0
III 経常外収益		0
IV 経常外費用		0
当期正味財産増減額		255,973
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		255,973

## **メディア掲載**

2013 年

2月21日 三陸経済新聞

- ・宮古で「高校生サミット」—高校生がまちづくりアイデア、活発に意見交換

3月20日 こころ通信ブログ

- ・宮古市 ユースみやっこベース『第2回高校生サミット』開催!!

3月20日発行 こころ通信第16号

- ・がんばる団体

4月14日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 高校生プレゼン大会が開催されました。

4月15日 三陸経済新聞

- ・宮古で「高校生プレゼン大会」—市街地マップ案優勝、「協働」で実現へ

4月16日 岩手日報

- ・高校生の視点で街づくり 活性化案を意見交換

4月29日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 ユースみやっこベース『第3回高校生サミット』開催!!

5月18日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 ユースみやっこベース『第4回高校生サミット』

6月17日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市第5回高校生サミット with 水沢高校生徒の皆さんと共に『復興とは』を考える

6月30日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 電通さんによる高校生が作る宮古活性化のための「宮古のCM」

7月21日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 第6回高校生サミットが開催されました!!

7月28日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 みやっこベース、マップづくりのための支援を受ける

8月1日 県政広報誌「いわてグラフ」第738号

- ・復興に向けてできることをひとつずつ!

8月23日 宮古市生活復興支援センターブログ

- ・ユースみやっこベース・高校生サミット

8月26日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 第7回高校生サミット開催!!

9月23日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 第8回高校生サミットが開催されました!!

10月18日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ

- ・宮古市 第9回高校生サミットが開催されました!!

- 10月23日 いわて三陸復興のかけ橋ホームページ  
・【宮古市】宮古の活性化へ「第8回高校生サミット」が開催
- 10月24日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ  
・「宮古の良さを届けたい」ユースみやっこベース×菅田のいかせんべい共同開発『まごいかせんべい』
- 10月25日 岩手日報  
・まごいかせんべい新味 高校生と協力して開発
- 11月1日 全国社会福祉協議会「ボランティア情報」10月号  
・復興のつぼみ
- 11月30日発行 こころ通信第18号  
・ユースみやっこベースのマップづくり
- 12月21日 宮古市生活復興支援センターブログ  
・高校生サミット！！
- 12月23日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ  
・宮古市 高校生の視点による高校生が製作したマップ『あうえーこなび』が完成!!

#### 2014年

- 3月23日 特定非営利活動法人 三陸情報局ブログ  
・宮古市 ユース世代の拠点設立 『みやっこハウス』4月1日オープン
- 3月30日 岩手日報 三陸復興 report  
・高校生の目線を活かしたまちづくり 地元への愛着を深め人材育成

# 第1回高校生サミット開催

## MIYAKKO BASE

ユースみやっこベース

### ユースみやっこベースとは

「子どものために、地域のために。生きる力を育む」という理念を持ち2月7日に設立されました。代表の早川輝さんは「地元の復興復興の力になりたい」という気持ちを持っている子どもや若者の「地元への愛着」を実際の行動に結び付けていく事が、子どもや若者の成長や宮古の発展のために必要であると考えています。宮古で育つ子どもや若者に対して社会活動への参加参加の機会を作り活動を支える事で、その活動の中から生きていくための基礎的な力をつけてもらうこと、そして1つの拠点として宮古に居場所があると感じてもらうことを目指しています。

### 問い合わせ

メール [miyakko.base@gmail.com](mailto:miyakko.base@gmail.com)  
 ツイッター MiyakkoBase  
 フェイスブック miyakkobase



活動の第一歩として、2月27日に第1回高校生サミットが開催されました。市内の13名の高校生達が団結力、発想力、行動力、そして幅広い年代から頼りまれやすいなど高校生の方とは何かを自分達で考え、今の宮古市の良い所、悪い所、5年後の宮古市はどんな町であってほしいのか、自分達に出来る事はなにか意見を出し合いました。3つのグループに別れそれぞれで自然や人の良さ、食べ物や美味しさなど良い所や通学路の道路整備や交通の不便さ、電灯や働くところが少ないなどの自分達の目線で気づいた課題を整理し最後に自分達がそれらに向けて出来る事を発表しました。各グループから高校生が主体のイベント企画や世代間交流を盛んにさせ町を活性化させること。そして、今回のような高校生同士が話し合う機会をもっと作っていく事が大事だということなど多くの意見が出されました。

参加した高校生達からは「被災地に住む自分たちが被災地の事、被災者の事を知らないままにしているはいけないと思う」「自分達が出来ること、自分達だからこそ出来る事をする事で町がもっとよくなれば自分達がこれから進学などで宮古市を離れてもまた戻ってこれる」と言った宮古を想う気持ちの熱さが伝わってきました。

サミットでの意見を元にこれからの活動を広げていきたいと話す早川さん。これから月に1度のペースで開催し続けたくさんの高校生達たちに興味を持ってもらい参加してもらえればと願っています。



2013年3月20日発行 ころ通信第16号より

## 高校生の視点で街づくり

### 宮古で 大会 活性化案を意見交換

高校生が自分たちで考えた「宮古活性化プロジェクト」を提案する「高校生プレゼン大会」（ユースみやっこベース主催）は14日、宮古市小山田の市総合福祉センターで開かれた。市民ら約50人が来場し、高校生の視点から提示された同市の現在と未来について意見を交わした。

宮古高、宮古商高などの17人が5グループに分かれ、同市を活性化するために考えたオリジナルのプロジェクトを発表。



生徒がボラするイベント、地域メディアとして運営するアイデアでの情報発信など、

自分たちが考えた「宮古活性化プロジェクト」をプレゼンする高校生ら

ど、高校生の視点で考えた市活性化のためのプランが語られた。来場者からは質問やアドバイスがいくつも寄せられた。

来場者の投票で、市内の魅力ある店を紹介するマップ作りを提案したグループ「地元愛」が1位に選ばれた。

同グループはユースみやっこベース（早川輝代表）の支援を受け、プロジェクト実現を目指す。

同グループリーダーの高屋敷新君（宮古高3年）は「市内の高校生との協力も得て、活動を広げていきたい」と意気込んだ。

2013年4月16日付 岩手日報より

復興に向けて

できることをひとつずつ!

自分たちが暮らす地域や、岩手の未来のために、各地で復興に向けて活動している人たちをご紹介します。

ユースみやっこベース

宮古市 復興の力になりたいと活動する高校生をサポート

「ユースみやっこベース」は「地元の復興の力になりたい」という意欲を持つ高校生が社会活動に参加する機会をつくるため、月1度の高校生サミットを開催しています。

これまで参加した高校生は、宮古市内を中心に延べ85人。話し合われたテーマは「宮古の活性化について」「私の将来・宮古の未来」などです。

代表の早川輝さんは、「初めは復興に対して漠然とした思いしかなかったのが、回を重ねるごとに具体的な話が出るようになりました」と言います。その中から生まれたのが、住民と商店街をつなぐため、「食事、カフェ、雑貨」など、高校生目線でまちを紹介する「宮古市街地のマップづくり」。活動を通して、地元へ愛着を感じるようになった生徒もいます。その思いを育て、実際の活動へ結びつけていくことが、地域のためになると考えています」と、今日も高校生の活動を見守っています。



6月16日に行われた5回目の高校生サミットには、水沢高校の学生も参加し「復興」と「未来」を話し合いました。



高校生の活動をサポートするスタッフ（後列）と、話合いに参加した高校生たち。

2013年8月1日発行 いわてグラフより



新しい味の「まごいかせんべい」を掲げる（左から）菅田正徳専務、吉浜有輝君、平野夏歩さん、早川輝代表

宮古の「すがた」

高校生と協力し開発

銘菓「元祖菅田のいかせんべい」で知られる宮古市の「すがた」（菅田正義社長）は、市内の高校生らのアイデアを基に人気商品「まごいかせんべい」の新味3種類を開発した。地域貢献や復興を目指す高校生と地元企業との協力で生まれた3種類は26、27の両日、宮古商高で開かれる物産販売会「宮商デパート」で販売される。

まごいかせんべい 新味

同社と、同市で若い世代が協力して開発。24日は同の社会参画を目的に活動す校で試食会が開かれ、開発する市民団体「ユースみやっこ」に関わった生徒ら約10人が「こベース」（早川輝代表） ラー油、くるみ、抹茶の3種類を味わった。

26、27日 限定販売 ラー油など3種類

6月に同団体のイベントで同市を訪れた奥州市の水沢高の生徒から「復興支援のため文化祭で、宮古の特産品を高校生らしくアレンジして販売したい」との要望を受けたのがきっかけ。趣旨に共感した同社の菅田正徳専務が中心になり、同団体に参加する市内の高校生のアイデアを基に試作を重ねて商品化し、8月の水沢高の文化祭でも好評を得た。平野夏歩さん（宮古商高3年）は「商品開発の面白さを味わった貴重な経験だった」と喜ぶ。今のところ「宮商デパート」のみの限定販売だが、反響次第では正式な販売も検討するという。吉浜有輝君（同）は「完売を目指したい」と意気込んだ。

2013年10月25日付 岩手日報より

発行所 全国社会福祉協議会 編集所 全国社会福祉協議会

2013年10月1日発行 毎月10日発行

OCT. 2013

# ボランティア情報 10

volunteer information | Vol.437

全国社会福祉協議会



Contents

02 特集  
被災地復興と住民主体の地域づくりのあり方を考える  
ボランティア市民活動のボトム・アップの振り返りから

06 面々広報  
07 アータイプ  
07 月九起  
08

復興のつぼみ  
岩手県宮古市  
ユースみやこベース  
代表 早川 輝 さん

生きる力を、  
ともに育む

復興は被災地からではなく、学校としての取り組みから行われたい。ボランティア活動を通じて話を聴きながら、何ができて、何ができていないかを考える。ボランティア活動を通じて、被災地の復興を支援したい。ボランティア活動を通じて、被災地の復興を支援したい。ボランティア活動を通じて、被災地の復興を支援したい。

2013年11月1日発行 全国社会福祉協議会「ボランティア情報10月号」より

## ユースみやこベースのマップ作り

皆さんが暮らすまちのまちを一緒に描いて、まちを一緒に作ろう！



「ユースみやこベース」は、被災地復興と住民主体の地域づくりのあり方を考える。ボランティア市民活動のボトム・アップの振り返りから。ユースみやこベースのマップ作り。ユースみやこベースのマップ作り。ユースみやこベースのマップ作り。

ユースみやこベースとは？  
「被災地復興のあり方」という問いをめぐって、子どもや若者の「まち」への思い、社会活動への参加の機会を創出するために2013年2月7日に設立された市民団体。学生同士が学校や地域などに所属し、互いに学びあえる場を創出。活動の場づくり、被災地でのボランティア活動などを話し合い、他校同士の交流を促す「高校生サミット」を毎月開催しています。

情報発信サポーター募集！！  
三陸復興財団では、貴校の情報を発信し募集しています。イベントや新聞などの記事を寄稿していただく。ブログでの発信の主な内容ですが、貴校の情報は新聞にも掲載していただく。ブログでの発信の主な内容ですが、貴校の情報は新聞にも掲載していただく。ブログでの発信の主な内容ですが、貴校の情報は新聞にも掲載していただく。

12月20日より宮古市内で販売予定！

新刊中、新刊中の店までお問い合わせ！

2013年11月30日発行 こころ通信第18号より

# 三陸復興 report

岩手県東日本大震災津波復興計画

【復興の目指す姿】  
「いのちを守り  
海と大地と共に生きる  
ふるさと岩手・三陸の創造」

【復興に向けた3つの原則】  
●安全の確保  
●暮らしの再建  
●なりわいの再生

## 着実に、ふるさと

東日本大震災から3年が経  
ますます加速していきます

### 高校生の目線を活かしたまちづくり 地元への愛着を深め人材育成

INTER

#### ユースみやっこベース(宮古市)



若者と地域のかげはしとして活動する、ユースみやっこベース代表理事の早川輝さん

同じ志を持った仲間と出会い、将来を考えるきっかけになった」と話すのは、平野夏歩さん(宮古商業高校3年)。石澤佳奈子さん(宮古高校3年)は、「いつか宮古でケーキ屋さんをやりたい。商店街のシャッターが全部開くといいな」と、未来の夢をふくらませます。武藤(ぶとう)浩太さん(宮古工業高校2年)は、「自分が生まれた場所を愛する気持ちが芽生えた」と、ふるさとの価値を再認識しました。

代表理事として高校生たちの活動を支えてきた早川輝(あきら)さん(27)は、「高校生たちが地元住民をまき込みながら活動する中で、行動力、リーダーシップなどを身につけ、大きな成長につながった。地域とのつながり、地元への愛着を育むことが、担い手育成につながれば」と、若手の社会参画に期待。震災を乗り越え、さらなる発展を目指す三陸のまちに、人材という地域の宝が育っています。

宮古市内の高校生たちが集まり、「地元の復興の力になりたい」と昨年2月に発足した市民団体「ユースみやっこベース」。地域の魅力や課題など幅広いテーマで話し合う「高校生サミット」や、いかせんべいの老舗(有)すがたとコラボレーションした新味「まごいかせんべい」の開発、商店街のマップづくりなど、若者の目線を活かしまちづくりに携わっています。

「宮古のために貢献したいという



ユースみやっこベースの皆さん。この日の話し合いのテーマは「宮古のプロモーションビデオを作ろう」

2014年3月30日付 岩手日報より

ユースみやっこベース

〒027-0084 岩手県宮古市末広町 8-24

Tel/Fax 0193-77-3809

E-Mail [miyakko.base@gmail.com](mailto:miyakko.base@gmail.com)

Web <http://miyakkobase.jimdo.com>

The logo consists of the words "MIYAKKO" and "BASE" stacked vertically. The text is rendered in a bold, orange, blocky font with a black outline, set against a light blue rectangular background.